



2020年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2020年2月10日

上場会社名 ハリマ共和物産株式会社 上場取引所 東
 コード番号 7444 URL https://www.harimakb.co.jp
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 津田 信也
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役マネジメントサポート (氏名) 三輪 正俊 TEL 079-253-5217
 本部長
 四半期報告書提出予定日 2020年2月13日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

百万円未満切捨て

1. 2020年3月期第3四半期の連結業績（2019年4月1日～2019年12月31日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第3四半期	39,071	6.0	1,436	9.9	1,569	10.9	1,055	11.4
2019年3月期第3四半期	36,843	2.7	1,307	△19.0	1,415	△18.2	947	△13.0

(注) 包括利益 2020年3月期第3四半期 1,072百万円 (57.4%) 2019年3月期第3四半期 681百万円 (△39.5%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第3四半期	196.38	—
2019年3月期第3四半期	176.29	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年3月期第3四半期	25,870	18,357	70.9
2019年3月期	24,817	17,489	70.4

(参考) 自己資本 2020年3月期第3四半期 18,345百万円 2019年3月期 17,482百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期	—	0.00	—	38.00	38.00
2020年3月期	—	0.00	—	—	—
2020年3月期（予想）	—	—	—	38.00	38.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2020年3月期の連結業績予想（2019年4月1日～2020年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	49,000	1.6	1,620	0.7	1,750	0.7	1,215	1.3	226.08

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

(注)詳細は、添付資料P. 7「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 (四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）

2020年3月期3 Q	5,441,568株	2019年3月期	5,441,568株
2020年3月期3 Q	67,269株	2019年3月期	67,269株
2020年3月期3 Q	5,374,299株	2019年3月期3 Q	5,373,376株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数（四半期累計）

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料P. 2「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、米中の貿易摩擦や中国の景気後退などによる景気の下振れ懸念から不透明感は依然残るものの、雇用や所得の拡大は継続しており、緩やかながら回復基調を維持しております。

一方で当流通業界におきましては、人件費や物流コストの上昇を背景に企業の収益環境が悪化する中で、業種・業態を越えた企業間の競争も激しく、厳しい環境が継続しております。また昨年10月の消費税増税による消費マインドへの影響も引き続き懸念されることから、先行きは楽観できない状況となっております。

こうした状況下において、当社グループは卸売業の保有する商流・物流・商品開発・情報・金融など様々な機能を活かし、時代とともに変化する卸売業への要請に応えるべく、全社一丸となって取り組んでまいりました。中でも商流・物流のネットワークにおいては、取引先の要望にスピーディに対応できる体制を整えるとともに、商流・物流一体となった総合的な流通サービスの提案を推し進めてまいりました。

上記の結果、当第3四半期連結累計期間における当社グループの業績は、売上高は主要顧客への販売が堅調であったことから、39,071百万円(前年同期比6.0%増)となりました。利益面は、運送費や人件費などの経費の増加があったものの、売上高増加に伴う売上総利益の拡大が寄与して、営業利益は1,436百万円(前年同期比9.9%増)、経常利益は1,569百万円(前年同期比10.9%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益は1,055百万円(前年同期比11.4%増)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第3四半期連結会計期間末における総資産は、25,870百万円(前連結会計年度末比1,052百万円増加)となりました。流動資産につきましては、14,091百万円(前連結会計年度末比585百万円増加)となりました。主な増減の要因としましては、現金及び預金が306百万円減少したものの、商品が489百万円、受取手形及び売掛金が321百万円それぞれ増加したことによるものであります。固定資産につきましては、11,778百万円(前連結会計年度末比467百万円増加)となりました。主な増減の要因としましては、投資その他の資産が250百万円増加したことによるものであります。

(負債)

当第3四半期連結会計期間末における負債は、7,513百万円(前連結会計年度末比184百万円増加)となりました。流動負債につきましては、6,443百万円(前連結会計年度末比165百万円増加)となりました。主な増減の要因としましては、短期借入金が390百万円減少したものの、支払手形及び買掛金が683百万円増加したことによるものであります。固定負債につきましては、1,069百万円(前連結会計年度末比19百万円増加)となりました。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末における純資産は、18,357百万円(前連結会計年度末比867百万円増加)となりました。主な増減の要因としましては、利益剰余金が851百万円増加したことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の連結業績につきましては、2019年5月14日に公表いたしました業績予想から修正は行っておりません。なお、この連結業績予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づいています。実際の業績は、様々な要因により予想数値とは異なる結果となる可能性があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2019年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,514,507	2,207,513
受取手形及び売掛金	7,752,478	8,074,055
電子記録債権	906,875	1,037,003
商品	1,725,221	2,214,750
その他	607,224	558,289
貸倒引当金	△9	△10
流動資産合計	13,506,298	14,091,601
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	2,896,578	2,838,571
土地	4,304,789	4,304,789
その他(純額)	1,303,361	1,583,418
有形固定資産合計	8,504,729	8,726,779
無形固定資産	107,046	102,178
投資その他の資産	2,699,666	2,949,853
固定資産合計	11,311,442	11,778,811
資産合計	24,817,740	25,870,413
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3,764,417	4,447,832
短期借入金	790,000	400,000
1年内返済予定の長期借入金	62,500	—
未払法人税等	325,911	196,202
賞与引当金	53,828	75,305
その他	1,281,558	1,324,367
流動負債合計	6,278,216	6,443,708
固定負債		
役員退職慰労引当金	305,830	320,993
退職給付に係る負債	443,738	435,272
その他	300,571	313,250
固定負債合計	1,050,139	1,069,516
負債合計	7,328,356	7,513,224

(単位:千円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2019年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	719,530	719,530
資本剰余金	750,988	750,988
利益剰余金	15,869,643	16,720,834
自己株式	△57,982	△57,982
株主資本合計	17,282,179	18,133,370
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	262,654	274,903
土地再評価差額金	△62,642	△62,642
その他の包括利益累計額合計	200,012	212,260
非支配株主持分	7,192	11,557
純資産合計	17,489,384	18,357,188
負債純資産合計	24,817,740	25,870,413

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)
売上高	36,843,032	39,071,444
売上原価	32,268,773	34,133,879
売上総利益	4,574,259	4,937,564
販売費及び一般管理費	3,266,506	3,500,932
営業利益	1,307,752	1,436,632
営業外収益		
受取利息及び配当金	40,706	40,971
業務受託手数料	28,752	28,310
保険解約返戻金	16,647	35,260
持分法による投資利益	—	5,562
その他	31,468	23,572
営業外収益合計	117,575	133,678
営業外費用		
支払利息	2,970	1,028
持分法による投資損失	6,871	—
営業外費用合計	9,841	1,028
経常利益	1,415,485	1,569,282
特別利益		
投資有価証券売却益	96	—
特別利益合計	96	—
税金等調整前四半期純利益	1,415,582	1,569,282
法人税等	465,831	509,503
四半期純利益	949,750	1,059,779
非支配株主に帰属する四半期純利益	2,465	4,364
親会社株主に帰属する四半期純利益	947,285	1,055,414

(四半期連結包括利益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)
四半期純利益	949,750	1,059,779
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△268,456	12,248
その他の包括利益合計	△268,456	12,248
四半期包括利益	681,294	1,072,027
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	678,829	1,067,663
非支配株主に係る四半期包括利益	2,465	4,364

（3）四半期連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。

（四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用）

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。